

参 考 手 本

義ぎに投とうずる志こころざしの希こいねがう所ところ



※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

義ぎに投とうずる 志こころざしの 希こいねがう所ところ

高 木 聖 雨 先 生



※これは規定課題ではありません。

# 条幅かな

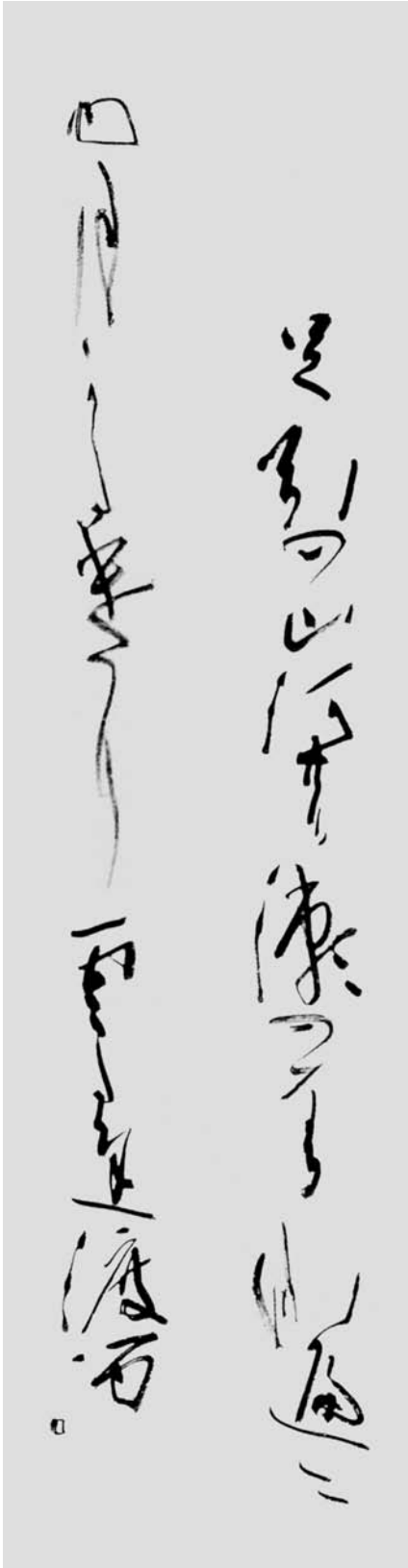
# 条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段~準三段)

あしひきの山河の瀬の響るなべに弓月が嶽に雲立ち渡る (柿本人麿)



集字聖教序 (東晋・王羲之)

寂弘濟萬品典御十方舉威靈而無上抑神

浮 乘 清 郷 先 生



道因法師碑 (唐・歐陽通)

磴透迤斜臨鴈水近對青城之巘遙瞻赤里之



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(7月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



綜賢孝之性

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

綜すべざるは無し。賢孝の性

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(7月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



高思墜持滿

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書

高きに居りては墜ちんことを思い、満を持しては

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(7月10日締切)

本 手 考 参 幅 条

江碧鳥逾白山青花欲然今  
春看又過何日是歸年

翠濤

主 幹 菅 野 翠 濤

江碧鳥逾白 山青花欲然 今春看又過 何日是歸年  
江碧にして鳥逾白く 山青くして花然えんと欲す 今春看又過ぐ 何の日は是れ歸年

和 泉 千 泉 先 生

潮水還歸海 流人卻到吳 相逢問愁苦 淚盡日南珠  
進 不 愁 苦 淚 盡 日 南 珠

潮水還歸海 流人卻到吳 相逢問愁苦 淚盡日南珠  
潮水還つて海に歸し 流人卻つて吳に到る 相逢うて愁苦を問へば 涙は盡く日南の珠

条幅参考手本

朝寒寒士達 家在舊山貧  
 想送天涯裏 隣君更遠人

琅泉

小柳琅泉先生

朝無寒士達 家在旧山貧 相送天涯裏 憐君更遠人  
 朝に寒士の達する無く 家は旧山に在って貧し 相送る天涯の裏 憐む君更に遠人なるを

朝平霞山先生

山里は蛙の声と なりにけり

良寛の句 霞山かく

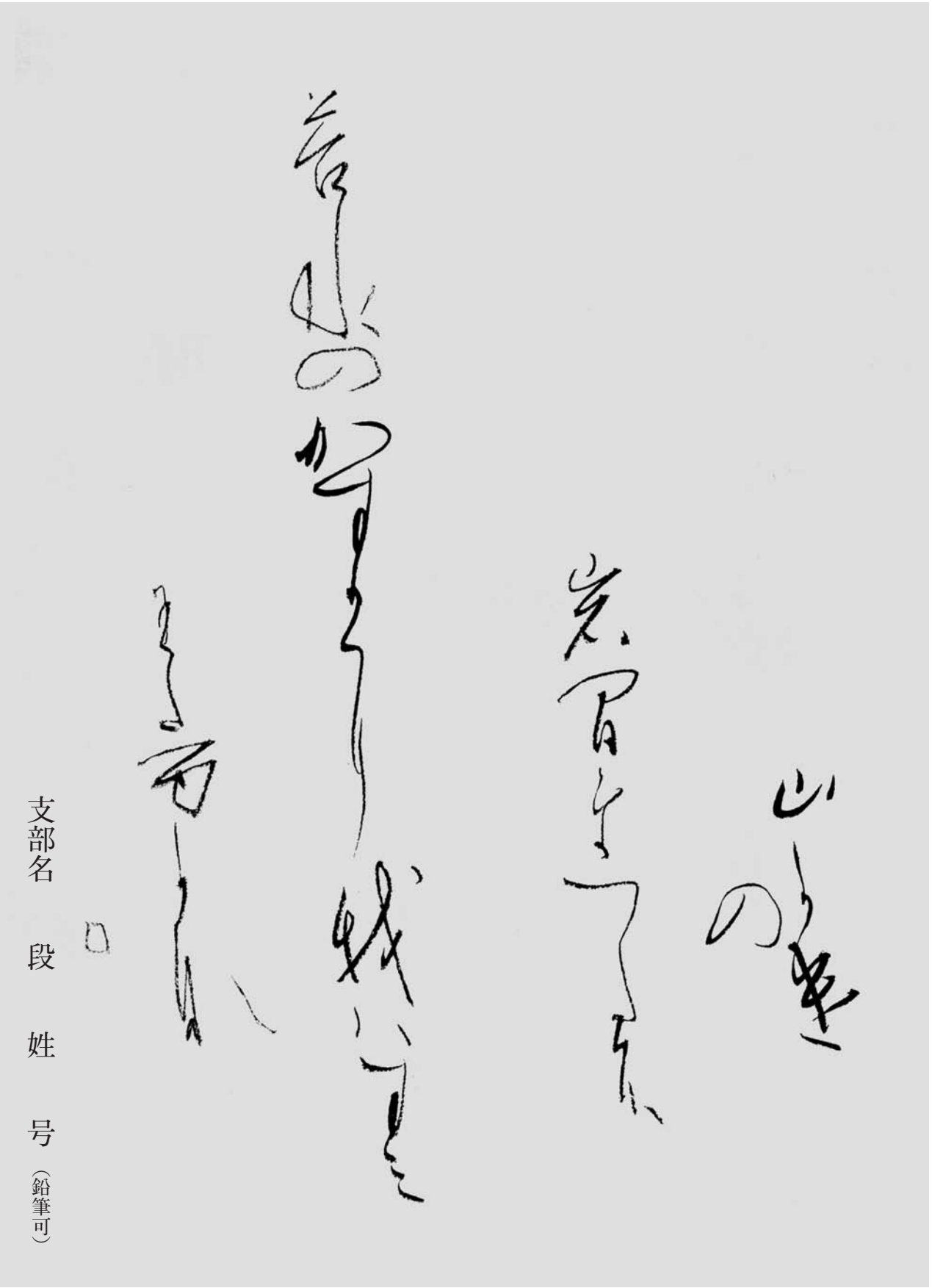
山里は 蛙の声と なりにけり (良寛句)

半紙かな（初段以上）

山<sup>やま</sup>か<sup>か</sup>げ<sup>げ</sup>の<sup>の</sup>岩<sup>いは</sup>間<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>ふ<sup>ふ</sup>苦<sup>く</sup>水<sup>みづ</sup>の<sup>の</sup>か<sup>か</sup>す<sup>す</sup>か<sup>か</sup>に<sup>に</sup>わ<sup>わ</sup>れ<sup>れ</sup>は<sup>は</sup>す<sup>す</sup>み<sup>み</sup>わ<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>る<sup>る</sup>か<sup>か</sup>な<sup>な</sup>（良<sup>りやう</sup>寛<sup>くわん</sup>）

支<sup>し</sup>部<sup>ぶ</sup>名<sup>な</sup> 段<sup>だん</sup> 姓<sup>せい</sup> 号<sup>ごう</sup>（鉛<sup>えん</sup>筆<sup>ひつ</sup>可<sup>か</sup>）

※支<sup>し</sup>部<sup>ぶ</sup>名<sup>な</sup>・段<sup>だん</sup>・姓<sup>せい</sup>号<sup>ごう</sup>を鉛<sup>えん</sup>筆<sup>ひつ</sup>で左<sup>ひだり</sup>下<sup>した</sup>に添<sup>そ</sup>え書<sup>か</sup>き下<sup>くだ</sup>さい。  
※ち<sup>ち</sup>ら<sup>ら</sup>し文<sup>ぶん</sup>字<sup>じ</sup>変<sup>へん</sup>換<sup>かん</sup>は自<sup>じ</sup>由<sup>ゆう</sup>



浮<sup>うき</sup>乘<sup>り</sup>清<sup>きよ</sup>郷<sup>ごう</sup>先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>

（7月10日締切）



半紙かな (1級～8級)

今朝咲きしくちなしの又白きこと (星野立子)

支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

Handwritten calligraphy of the poem: 今朝咲きしくちなしの又白きこと

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

若月久美子先生

(7月10日締切)

実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

窓を開いて窓にもたれればいい  
土の上に影があるのを眺めれば  
いいああ何もかも美しく／＼私の  
身体の外に私を囲んで暖かく  
香りよくにはほふひと

支部名 女 姓号

田辺玉翠先生

立原道造詩『薄明』より

（7月10日締切）

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

一年中で一番嫌われる梅雨の長雨。

樹木や野菜の生長に大切な事は分

ついても、時に「好い加減にして

くれ」と言いたくなります。

支部 段級 姓号

久保田 悠山 先生

（7月10日締切）

細 字

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

手<sup>しゅ</sup> 氷<sup>ひょう</sup>  
 套<sup>とう</sup> 盤<sup>ばん</sup>  
 てぶくろ。 氷ったスケート場。

支 部

段 級

姓

号

手 套 雪 嶺 直 滑 氷 盤  
 手 套 雪 嶺 直 滑 氷 盤  
 手 套 雪 嶺 直 滑 氷 盤

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

(7月10日締切)

硬筆（初段以上）

梅雨明けが待ち遠しくいゝ頃。すつ  
まゝいゝお天気が続いています。が、  
皆様 お変わりなくお過ごしよ  
うか。いゝ時期の貴重な晴れの日は  
有意義に使いたいです。

支那名 長 姓 号

本院定型用紙一枚に書く

青柳江雲先生

（7月10日締切）

硬筆（4級以下）

硬筆（1級～3級）

本院定型用紙・たて半分に書く

良寛は、村人や児童との交わりを深  
 め、心に余裕のある優しい人でした。

支部  
 級  
 姓  
 号

田  
辺  
翠  
鶴  
先  
生

良寛は、村人や児童との交わりを深  
 め、心に余裕のある優しい人でした。

支部  
 級  
 姓  
 号

田  
辺  
翠  
鶴  
先  
生

（7月10日締切）

中2用

支部名  
 段級  
 名  
 前

古 都  
 千 年  
 の

渡 邊 南 嶂 先生

中3用

支部名  
 段級  
 名  
 前

進 步  
 人 類  
 の

大 越 三 宗 先生

(7月10日締切)

小6用

中1用

支部名  
段級  
名前

調色  
和の

渡邊南嶂先生

支部名  
段級  
名前

反省  
生活の

渡邊南嶂先生

(7月10日締切)



小4用

支部名	考
段級	考
名前	考
名前	考

大越三宗先生

小5用

支部名	守	海
段級	守	海
名前	守	海
名前	守	海

大越三宗先生

(7月10日締切)

小2用

支  
部  
名

段  
級

名  
前




鈴  
木  
翡  
恵  
先  
生

小3用

支  
部  
名

段  
級

名  
前



鈴  
木  
翡  
恵  
先  
生

(7月10日締切)

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

くも

中 3

有限な地球資源を、  
果的に節約しよう。効

中 2

立派な人材も確かな指  
導者がいてこそ生きる。

中 1

転校した友人が、学校  
の写真を送ってきた。

中1～中3

青柳江雲先生

(7月10日締切)

小1・幼年

ようございませう。  
げんきなこえで、  
おは

小1～小3

小 2

まり、あじさい。  
雨あがり、にじ、  
水た

田 辺 翠 鶴 先生

小 3

みどりの森の中を歩く  
のは、気もちがよい。

小 4

向かいの家からピアノ  
の音が聞こえてくる。

小4～小6

小 5

今日は、朝から気温が  
上がらず暑くはない。

齊 藤 翡 流 先生

小 6

田植えがすむと、一面  
が緑一色になります。

(7月10日締切)

# 小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

打ち寄せ  
る  
白い波

主幹菅野翠濤

・半紙の半分を書いて下さい

(7月10日締切)

# 中学部かな課題

支部名

段級

名

前

蝶のふれあふ音  
すずかり  
日ざかりに

季語

日盛

日盛りに蝶のふれあふ音すなり  
「日盛」日盛の気の遠くなるような静寂感がでている。二匹の蝶が触れ合う音が聞こえてくるように、は勿論感覚的な表現だろう。鋭い感受性がかがわれる。

船久保 棠 苑 先生

・半紙の半分を書いて下さい